

第3次長野県スポーツ推進計画の改定について

スポーツ振興課

1 背景

- 令和6年3月「長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針」及び「長野県地域クラブ活動推進ガイドライン」を策定。
- 全国中学校体育大会において令和9年度以降9競技の廃止が決定されるなど、中学生をめぐるスポーツ環境に大きな変化が起きている。
- 一般スポーツと障がい者スポーツや、観光とスポーツが一体となり、更なる連携が可能となった。

2 改定の方向性

スポーツの持つ力の多面的活用により、スポーツ振興と他施策との好循環を促進するため、信州やまなみ国スポ・全障スポに向け基本項目は現行計画を継承したうえで、知事部局となったメリットを活かして、『より一層の県施策一般との融合を目指すよう一部見直しを実施』。

障がい者スポーツの推進や中学生期におけるスポーツ環境の変化をふまえるとともに、「スポーツ×●●」をさらに強調するため、県施策との融合の視点について、改めて計画をブラッシュアップする。



3 今後の進め方

- 外部意見や部局の意見を丁寧に聴き取りしながら、長野県スポーツ推進審議会や教育委員会意見聴取などを実施し、改定を進めていく。
- 長野県スポーツ推進審議会では、産業や女性・子育ての視点など新たな視点をもった外部有識者を専門委員として参加していただき、幅広く意見を頂く。

4 スケジュール

- | | |
|-------|----------------------------|
| 8月7日 | 第1回長野県スポーツ推進審議会（方向性、概要案審議） |
| 9月中旬 | 第2回長野県スポーツ推進審議会（詳細案審議） |
| 9月下旬 | パブリックコメント |
| 9月下旬 | 長野県教育委員会への意見徴収 |
| 10月中旬 | 第3回長野県スポーツ推進審議会（最終案） |
| 11月上旬 | 改正案決定 |

第3次長野県スポーツ推進計画(改正方針案)【概要版】

計画策定の趣旨

- 新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大の影響により、あらゆる世代のスポーツ活動が大きな制限を受け、多大な悪影響を及ぼした一方で、スポーツが日々の生活や社会に活力を与えるなど、優れた力や価値があることを再認識。
- スポーツの持つ力や価値を活用し更に高めることにより、県民一人ひとりの生活や心がより豊かになるといった「ウェルビーイング」の実現を目指し、今後5年間において本県が推進していくスポーツの施策を明らかにするべく、新たなスポーツ推進計画を策定。

計画期間

令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度)

計画の位置付け

- スポーツ基本法第10条第1項の規定による「地方スポーツ推進計画」
- 「長野県総合5か年計画」及び「第4次長野県教育振興基本計画」に対応するスポーツ分野の個別計画

基本理念

スポーツの力で切り拓く長野県の未来

基本目標1 子どもの運動・スポーツ機会の充実	基本目標2 生涯を通じたスポーツ機会の充実	基本目標3 全国や世界で活躍する選手の育成	基本目標4 スポーツの持つ力の多面的活用
<p>《主な現状と課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの体力の低下傾向 運動をする子どもとしない子どもの二極化 運動嫌いを生まないための体育授業の工夫 公立中学校等の学校部活動の地域クラブ活動への移行 子どもがスポーツに参加しやすい地域のスポーツ環境の整備 	<p>《主な現状と課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 習慣的に運動・スポーツをする成人は約6割 コロナ禍の影響等により、直接スポーツ観戦率・スポーツボランティア参加率は共に1割未満に低下 地域のスポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団等)の活性化 障がい者スポーツの参加機会の拡大と理解促進(共生社会の実現) 	<p>《主な現状と課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民体育大会における本大会での成績の低迷 専門的な医科学サポート体制の整備 先端技術を活用した効果的な競技力向上対策 熟練した指導者の高齢化、女性指導者の不足 アスリートの経験・技術の活用 	<p>《主な現状と課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ大会・合宿等を通じた地域活性化 2028年の信州やまなみ国スポ・全障スポの開催気運等を活用した人々の交流促進 プロスポーツチームと連携した地域活性化等 コロナ禍を経験し、運動やスポーツを通じた健康づくりの重要性を再認識
<p>《主な施策の展開》</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児期からの運動遊びの推進 効果的なICTの活用による個別最適な体育・保健授業の推進 学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けて、地域を拠点としたスポーツ環境づくり及び指導者の確保や質の向上を図るための取組の支援 障がいのある子どもの運動機会の充実、理解の促進 	<p>《主な施策の展開》</p> <ul style="list-style-type: none"> 「する」「みる」「ささえる」スポーツへの参画人口の拡大と定着化 スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブなど地域のスポーツクラブとの連携強化 誰もが身近で安全に利用しやすいスポーツ施設の充実・維持管理 スポーツを通じた共生社会づくりの推進 	<p>《主な施策の展開》</p> <ul style="list-style-type: none"> 2028年の信州やまなみ国スポでの天皇杯・皇后杯獲得に向けた競技力向上対策 先端技術を活用した競技力向上対策 県内どこでも医科学的なサポートを受けられる「長野県スポーツ医科学ネットワーク」の構築 アスリート等の県内就職を支援する「長野県アスリート就職支援事業」の強化 	<p>《主な施策の展開》</p> <ul style="list-style-type: none"> 県スポーツコミッションによる大会やスポーツ合宿の誘致促進による地域活性化 山岳スポーツやウインタースポーツなど本県ならではのスポーツの魅力の発信 県内のプロスポーツチームと連携した青少年の健全育成や観光振興 運動・スポーツを通じた健康づくりの推進

《改正方針：全体》

基本項目は現行計画を継承したうえで、以下視点で再検討

【一般スポーツ×障がい者スポーツ】

- 既に基本事項を盛り込み済みではあるが、部局が一体なった利点を活かし、より実効性を高めていくため、**達成目標設定や推進して行く取り組みを追記。**

【現行計画策定からの変動要因】

- 中学生期の部活動地域移行の推進
- 全国中学校体育大会種目の中止
- 少子化・人口減少の顕著化



《改正方針：基本目標4》

特に、基本目標4については、追加で施策の展開を盛り込むとともに、現在設定の無い達成目標を設定し、抜本的に改訂を検討

【スポーツ×観光】

- 観光スポーツ部となった利点を最大限活用し、**相乗効果を発揮していく事項を積極的に関連項目を追記**

【スポーツ×●●】

- 部局間連携により、**「スポーツの力」の寄与により、より一層振興を進められる項目を抽出し必要に応じて施策の展開を追記**

基本目標4

スポーツの持つ力の多面的活用

主な課題

- ・スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致等を通じた地域活性化
- ・オリンピック・パラリンピックや国スポ・全障スポ等の大規模大会のレガシーの継承
- ・スポーツを通じた人々の交流
- ・健康長寿社会に向けた運動・スポーツによる健康づくり

1 スポーツツーリズムの推進による地域経済の活性化	2 スポーツを通じた人々の交流促進	3 プロスポーツとの連携・協働の推進	4 スポーツを通じた健康長寿
<p>≪5年後の目指す姿≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県スポーツコミッションが核となり、全国大会・世界大会等の様々なスポーツ大会が県内各地で開催され、スポーツを通じた誘客による地域経済の活性化が図られている。 <p>≪施策の展開≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会・合宿等の誘致を通じた地域経済の活性化 	<p>≪5年後の目指す姿≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山岳スポーツやウィンタースポーツなどの長野県ならではの魅力あふれるスポーツを楽しむために日本全国・世界各地との交流が活発に行われている。 <p>≪施策の展開≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際大会等の開催を通じた人々の交流 ・オリンピック・パラリンピック開催を契機とした韓国・中国との交流の継続 ・信州ならではのスポーツの魅力発信 ・信州やまなみ国スポ・全障スポを通じた地域の活性化 	<p>≪5年後の目指す姿≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツと連携・協働した事業が盛んに行われ、地域振興につながっている。 <p>≪施策の展開≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツとの連携事業の推進（基本的に、社会貢献活動等を記載） 	<p>≪5年後の目指す姿≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイルの増加や地域コミュニティの弱体化等、様々な社会問題へスポーツの力が多面的活用され、課題解決に寄与している。 <p>≪施策の展開≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツを通じた健康づくりの推進

追加・修正素案

1 スポーツの活用による地域経済の活性化	2 スポーツを通じた人々の交流促進・地域づくり	3 プロスポーツとの連携・協働の推進	4 スポーツを通じた健康長寿	新 5 スポーツの振興による共生社会づくり
<p>≪更に追加したい5年後の目指す姿≫</p> <p>スポーツを通じた稼ぐ地域の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコミッションによる競技スポーツのみではなく、アクティビティスポーツによるスポーツツーリズムが活発になっている ・プロスポーツとの連携、周遊観光を促進し、相乗効果による経済活性化が図られている 	<p>≪更に追加したい5年後の目指す姿≫</p> <p>女性・若者から選ばれる地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコミュニティの促進による住みやすい地域づくりがすすめられ、交流人口・関係人口拡大による、女性・若者にえらばれる地域となっている（U/Iターン、2拠点居住の促進） ・いつでも・だれでもがスポーツができる環境が県内どこに行っても形成されている ・国スポ・全障スポ後、スポーツが地域文化として根付き、継続した活動となる準備が出来る 	<p>≪更に追加したい5年後の目指す姿≫</p> <p>プロチームとの共同・共創</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツとの連携、周遊観光を促進し、相乗効果による経済活性化が図られている ・シビックプライド・郷土愛の醸成により地域コミュニティの絆が深まっている ・セカンドキャリア人材活用が図られている ・部活動の地域移行などにおいて、プロチーム等と連携し、指導者の意識向上や確保が図られている 	<p>≪更に追加したい5年後の目指す姿≫</p> <p>県外向け健康長寿の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿日本一の長野県の取り組みを、県外に発信され認知度が向上されている ・県内外の企業向け健康経営・スポーツプログラムの取り組みにより、滞在・交流人口が増加されている 	<p>≪更に追加したい5年後の目指す姿≫</p> <p>地域で目指す共生社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州やまなみ国スポ・全障スポの開催準備や運営を一体的に進めることで、身近な地域で誰もがスポーツを楽しむ環境整備の促進されている ・「パラウエーブNAGANO」を通じ、スポーツを活用した地域社会での共生に向けた取組が促進されている ・信州やまなみ全障スポに向け、日本財団パラスポーツセンターと連携したインクルーシブ社会への新たな取組への挑戦が始まっている